



show running-config コマンド～ show running-config isakmp コマンド

show running-config

セキュリティ アプライアンス上で実行されているコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] [command]
```

シンタックスの説明

<i>all</i>	デフォルト値を含めて、実行コンフィギュレーション全体を表示します。
<i>command</i>	特定のコマンドに関連付けられているコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

引数もキーワードも指定しない場合は、デフォルト以外に設定されているセキュリティ アプライアンス コンフィギュレーション全体が表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config コマンドは、セキュリティ アプライアンス上の現在の実行コンフィギュレーションを表示します。

running-config キーワードは、**show running-config** コマンド内だけで使用できます。このキーワードを **no** および **clear** と共に使用することはできません。また、スタンドアロン コマンドとして使用することもできません。CLI ではサポートされないコマンドとして処理されます。**?**、**no ?**、または **clear ?** のいずれかのキーワードを入力した場合、**running-config** キーワードはコマンドリストに表示されません。



(注)

デバイス マネージャのコマンドを使用してセキュリティ アプライアンスに接続するかセキュリティ アプライアンスを設定した後は、デバイス マネージャのコマンドがコンフィギュレーションに表示されます。

例

次の例は、セキュリティ アプライアンス上で実行されているコンフィギュレーションを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config
: Saved
:
XXX Version X.X(X)
names
!
interface Ethernet0
  nameif test
  security-level 10
  ip address 10.10.88.50 255.255.255.254
!
interface Ethernet1
  nameif inside
  security-level 100
  ip address 10.86.194.176 255.255.254.0
!
interface Ethernet2
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Ethernet3
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Ethernet4
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Ethernet5
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
enable password 8Ry2YjIyt7RRXU24 encrypted
passwd 2KFQnbNIdI.2KYOU encrypted
hostname XXX
domain-name XXX.com
boot system flash:/cdisk.bin
ftp mode passive
pager lines 24
mtu test 1500
mtu inside 1500
```

```

monitor-interface test
monitor-interface inside
ASDM image flash:ASDM
no ASDM history enable
arp timeout 14400
route inside 0.0.0.0 0.0.0.0 10.86.194.1 1
timeout xlate 3:00:00
timeout conn 2:00:00 half-closed 1:00:00 udp 0:02:00 icmp 1:00:00 rpc 1:00:00 h3
23 0:05:00 h225 1:00:00 mgcp 0:05:00 mgcp-pat 0:05:00 sip 0:30:00 sip_media 0:02
:00
timeout uauth 0:00:00 absolute
http server enable
http 0.0.0.0 0.0.0.0 inside
no snmp-server location
no snmp-server contact
snmp-server enable traps snmp
fragment size 200 test
fragment chain 24 test
fragment timeout 5 test
fragment size 200 inside
fragment chain 24 inside
fragment timeout 5 inside
telnet 0.0.0.0 0.0.0.0 inside
telnet timeout 1440
ssh timeout 5
console timeout 0
group-policy todd internal
!
class-map inspection_default
 match default-inspection-traffic
!
!
policy-map xxx_global_fw_policy
 class inspection_default
  inspect dns
  inspect ftp
  inspect h323 h225
  inspect h323 ras
  inspect http
  inspect ils
  inspect mgcp
  inspect netbios
  inspect rpc
  inspect rsh
  inspect rtsp
  inspect sip
  inspect skinny
  inspect sqlnet
  inspect tftp
  inspect xdmcp
  inspect ctiqbe
  inspect cuseeme
  inspect icmp
!
terminal width 80
service-policy xxx_global_fw_policy global
Cryptochecksum:bfecf4b9d1b98b7e8d97434851f57e14
: end

```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>configure</code>	セキュリティ アプライアンスを端末から設定します。

show running-config aaa

実行コンフィギュレーションの AAA コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config aaa** コマンドを使用します。

```
show running-config aaa [ accounting | authentication | authorization | mac-exempt | proxy-limit ]
```

シンタックスの説明

accounting	(オプション) アカウンティング関連の AAA コンフィギュレーションを表示します。
authentication	(オプション) 認証関連の AAA コンフィギュレーションを表示します。
authorization	(オプション) 認可関連の AAA コンフィギュレーションを表示します。
mac-exempt	(オプション) MAC アドレス免除の AAA コンフィギュレーションを表示します。
proxy-limit	(オプション) ユーザ 1 人あたりに許可されている同時プロキシ接続の数を表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config aaa** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config aaa
aaa authentication match infrastructure_authentication_radiusvrs infrastructure
radiusvrs
aaa accounting match infrastructure_authentication_radiusvrs infrastructure radiusvrs
aaa authentication secure-http-client
aaa local authentication attempts max-fail 16
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa authentication match	アクセス リストによって識別されるトラフィックに対する認証をイネーブルにします。
aaa authorization match	アクセス リストによって識別されるトラフィックに対する認可をイネーブルにします。
aaa accounting match	アクセス リストによって識別されるトラフィックに対するアカウントリングをイネーブルにします。
aaa mac-exempt	認証と認可を免除される MAC アドレスの事前定義済みリストを使用することを指定します。
aaa proxy-limit	ユーザ 1 人あたりに許可する同時プロキシ接続の最大数を設定して、uauth セッション制限を設定します。

show running-config aaa-server

AAA サーバのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config aaa-server** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] aaa-server [server-tag] [(interface-name)] [host hostname]
```

シンタックスの説明

all	(オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルトのコンフィギュレーション値を含めて表示します。
host hostname	(オプション) AAA サーバ統計情報の表示対象となる、特定のホストのシンボリック名または IP アドレス。
(interface-name)	(オプション) AAA サーバが常駐するネットワーク インターフェイス。
server-tag	(オプション) サーバグループのシンボリック名。

デフォルト

server-tag 値を省略すると、すべての AAA サーバのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI ガイドラインに沿うように、このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、特定のサーバグループの設定を表示するために使用します。明示的に設定されている値に加えてデフォルト値も表示するには、**all** パラメータを使用します。

例

デフォルト AAA サーバグループの実行コンフィギュレーションを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
hostname(config)# show running-config default aaa-server

aaa-server group1 protocol tacacs+ accounting-mode simultaneous
reactivation-mode depletion deadtime 10
max-failed-attempts 4
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa-server	AAA サーバの統計情報を表示します。
clear configure aaa-server	AAA サーバのコンフィギュレーションを消去します。

show running-config aaa-server host

特定のサーバの AAA サーバ統計情報を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config aaa-server** コマンドを使用します。

```
show/clear aaa-server
```

```
show running-config [all] aaa-server server-tag [(interface-name)] host hostname
```

シンタックスの説明

all	(オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルトのコンフィギュレーション値を含めて表示します。
server-tag	サーバグループのシンボリック名。

デフォルト

default キーワードを省略すると、明示的に設定されているコンフィギュレーション値のみが表示され、デフォルト値は表示されません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI ガイドラインに沿うように、このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、特定のサーバグループの統計情報を表示するために使用します。明示的に設定されている値に加えてデフォルト値も表示するには、**default** パラメータを使用します。

例

サーバグループ svrgrp1 の実行コンフィギュレーションを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
hostname(config)# show running-config default aaa-server svrgrp1
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config aaa-server	指定したサーバ、グループ、またはプロトコルの AAA サーバ設定を表示します。
clear configure aaa	すべてのグループのすべての AAA サーバの設定を削除します。

show running-config access-group

アクセス グループの情報を表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config access-group` コマンドを使用します。

`show running-config access-group`

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

例 次に、`show running-config access-group` コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config access-group
access-group 100 in interface outside
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>access-group</code>	アクセス リストをインターフェイスにバインドします。
<code>clear configure access-group</code>	すべてのインターフェイスからアクセス グループを削除します。

show running-config access-list

セキュリティ アプライアンス上で実行されているアクセス リストのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config access-list** コマンドを使用します。

```
show running-config [default] access-list [alert-interval | deny-flow-max]
```

```
show running-config [default] access-list id [saddr_ip]
```

シンタックスの説明

alert-interval	syslog メッセージ 106001 を生成する警告間隔を表示します。このメッセージは、システムが拒否フローの最大数に達したことを警告するものです。
deny-flow-max	作成できる同時拒否フローの最大数を表示します。
id	表示するアクセス リストを指定します。
saddr_ip	指定した送信元 IP アドレスを保持しているアクセス リスト要素を表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード running-config が追加されました。

使用上のガイドライン

show running-config access-list コマンドを使用すると、セキュリティ アプライアンス上の現在のアクセス リスト実行コンフィギュレーションを表示できます。

例

次に、**show running-config access-list** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config access-list
access-list allow-all extended permit ip any any
```

関連コマンド

コマンド	説明
access-list ethertype	トラフィックを EtherType に基づいて制御するためのアクセス リストを設定します。
access-list extended	アクセス リストをコンフィギュレーションに追加し、ファイアウォールを通過する IP トラフィック用のポリシーを設定します。
access-list ethertype	トラフィックを EtherType に基づいて制御するためのアクセス リストを設定します。
clear access-list	アクセス リスト カウンタを消去します。
clear configure access-list	実行コンフィギュレーションからアクセス リストを消去します。

show running-config alias

コンフィギュレーションに含まれている、デュアル NAT コマンドで使用する重複アドレスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config alias** コマンドを使用します。

```
show running-config alias {interface_name}
```

シンタックスの説明

interface_name destination_ip が上書きする、内部ネットワーク インターフェイス名。

デフォルト

このコマンドにデフォルト設定はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

例

次の例は、エイリアス情報を表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config alias
```

関連コマンド

コマンド	説明
alias	エイリアスを作成します。
clear configure alias	エイリアスを削除します。

show running-config arp

arp コマンドで作成し、実行コンフィギュレーションに含まれているスタティック ARP エントリを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp** コマンドを使用します。

show running-config arp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config arp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp
arp inside 10.86.195.11 0008.023b.9893
```

関連コマンド	コマンド	説明
	arp	スタティック ARP エントリを追加します。
	arp-inspection	透過ファイアウォール モードで、ARP パケットを調べて ARP スプーフィングを防止します。
	show arp	ARP テーブルを表示します。
	show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。

show running-config arp timeout

実行コンフィギュレーションの ARP タイムアウト コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp timeout** コマンドを使用します。

show running-config arp timeout

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show arp timeout から変更されました。

例 次に、**show running-config arp timeout** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp timeout
arp timeout 20000 seconds
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp timeout	セキュリティ アプライアンスが ARP テーブルを再構築するまでの時間を設定します。
arp-inspection	透過ファイアウォール モードで、ARP パケットを調べて ARP スプーフィングを防止します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。

show running-config arp-inspection

実行コンフィギュレーションの ARP 検査コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp-inspection** コマンドを使用します。

show running-config arp-inspection

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show arp timeout から変更されました。

例 次に、**show running-config arp-inspection** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp-inspection
arp-inspection inside1 enable no-flood
```

関連コマンド	コマンド	説明
	arp	スタティック ARP エントリを追加します。
	arp-inspection	透過ファイアウォール モードで、ARP パケットを調べて ARP スプーフィングを防止します。
	clear configure arp-inspection	ARP 検査のコンフィギュレーションを消去します。
	firewall transparent	ファイアウォール モードを透過に設定します。
	show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。

show running-config asdm

実行コンフィギュレーションに含まれている **asdm** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config asdm** コマンドを使用します。

```
show running-config asdm [group | location]
```

シンタックスの説明

group	(オプション) 実行コンフィギュレーションに含まれている asdm group コマンドだけを表示します。
location	(オプション) 実行コンフィギュレーションに含まれている asdm location コマンドだけを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト	
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト
特権 EXEC	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show running-config pdm コマンドから show running-config asdm コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン

asdm コマンドをコンフィギュレーションから削除するには、**clear configure asdm** コマンドを使用します。



(注)

マルチ コンテキスト モードで動作しているセキュリティ アプライアンスでは、**show running-config asdm group** コマンドと **show running-config asdm location** コマンドを使用できるのはシステム実行スペース内だけです。

例

次に、**show running-config asdm** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config asdm
asdm image flash:/ASDM
asdm history enable
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show asdm image	現在の ASDM イメージファイルを表示します。

show running-config auth-prompt

現在の認証プロンプト チャレンジテキストを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで show running-config auth-prompt コマンドを使用します。

show running-config [default] auth-prompt

シンタックスの説明	default	(オプション) デフォルトの認証プロンプト チャレンジテキストを表示します。
------------------	----------------	--

デフォルト 設定されている認証プロンプト チャレンジテキストを表示します。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが、CLI ガイドラインに準拠するようにこのリリースで修正されました。

使用上のガイドライン show running-config auth-prompt コマンドは、auth-prompt コマンドで認証プロンプトを設定した後に、現在のプロンプト テキストを表示するために使用します。

例 次に、show running-config auth-prompt コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config auth-prompt
auth-prompt prompt Please login:
auth-prompt accept You're in!
auth-prompt reject Try again.
hostname(config)#
```

関連コマンド	auth-prompt	ユーザ認可プロンプトを設定します。
	clear configure auth-prompt	ユーザ認可プロンプトをデフォルト値にリセットします。

show running-config banner

指定したバナー、およびそのバナーに設定されているすべての行を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config banner** コマンドを使用します。

```
show running-config banner [exec | login | motd]
```

シンタックスの説明

exec	(オプション) イネーブル プロンプトを表示する前にバナーを表示します。
login	(オプション) ユーザが Telnet を使用してセキュリティ アプライアンスにアクセスしたときに、パスワード ログイン プロンプトを表示する前にバナーを表示します。
motd	(オプション) 「今日のお知らせ」バナーを表示します。

デフォルト

このコマンドにデフォルト設定はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	<i>running-config</i> キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

show running-config banner コマンドは、キーワードで指定したバナー、およびそのバナーに設定されているすべての行を表示します。キーワードを指定しない場合は、すべてのバナーが表示されます。

例

次の例は、「今日のお知らせ」(motd) バナーを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config banner motd
```

関連コマンド

コマンド	説明
banner	バナーを作成します。
clear configure banner	バナーを削除します。

show running-config class

リソース クラス コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config class** コマンドを使用します。

show running-config class

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config class** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config class

class default
  limit-resource All 0
  limit-resource Mac-addresses 65535
  limit-resource ASDM 5
  limit-resource SSH 5
  limit-resource Telnet 5
```

関連コマンド

コマンド	説明
class	リソース クラスを設定します。
clear configure class	クラス コンフィギュレーションを消去します。
context	セキュリティ コンテキストを設定します。
limit-resource	クラスに対してリソース制限を設定します。
member	リソース クラスにコンテキストを割り当てます。

show running-config class-map

クラス マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config class-map** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] class-map [class_map_name | type {management | regex |
inspect [protocol]}]
```

シンタックスの説明

<i>all</i>	(オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。
<i>class_map_name</i>	(オプション) クラス マップ名の実行コンフィギュレーションを表示します。
inspect	(オプション) 検査クラス マップを表示します。
management	(オプション) 管理クラス マップを表示します。
<i>protocol</i>	(オプション) 表示するアプリケーション マップのタイプを指定します。指定できるタイプは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • dns • ftp • h323 • http • im • p2p-donkey • sip
regex	(オプション) 正規表現クラス マップを表示します。
<i>type</i>	(オプション) 表示するクラス マップのタイプを指定します。レイヤ 3/4 クラス マップを表示する場合は、タイプを指定しないでください。

デフォルト

match any コマンドを 1 つだけ含んでいる **class-map class-default** コマンドが、デフォルトのクラス マップです。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト	
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト
特権 EXEC	•	•	•	•
				システム

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード running-config が追加されました。

例

次に、**show running-config class-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config class-map
class-map tcp-port
  match port tcp eq ftp
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	トラフィック クラスをインターフェイスに適用します。
clear configure class-map	すべてのトラフィック マップ定義を削除します。

show running-config client-update

グローバル クライアント アップデート コンフィギュレーション情報を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モード、またはトンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション モードで **show running-config client-update** コマンドを使用します。

show running-config client-update

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•
トンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。
7.1(1)	トンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション モードが追加されました。

使用上のガイドライン

グローバル クライアント アップデート コンフィギュレーション情報を表示するには、このコマンドを使用します。

例

次の例は、グローバル コンフィギュレーション モードでの **show running-config client-update** コマンドと、クライアント アップデートがイネーブルにされたコンフィギュレーションの出力を示しています。

```
hostname(config)# show running-config client-update
hostname(config)# client-update enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure client-update	client-update コンフィギュレーション全体を消去します。
client-update	client-update を設定します。

show running-config clock

実行コンフィギュレーションのクロック コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config clock** コマンドを使用します。

show running-config [all] clock

シンタックスの説明 *all* (オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての **clock** コマンドを表示します。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン *all* キーワードを指定した場合は、**clock summer-time** コマンドの正確な日時もオフセットのデフォルト設定（オフセットを設定しなかった場合）と共に表示されます。

例 次に、**show running-config clock** コマンドの出力例を示します。**clock summer-time** コマンドのみ設定されていました。

```
hostname# show running-config clock
clock summer-time EDT recurring
```

次に、**show running-config all clock** コマンドの出力例を示します。設定されていない **clock timezone** コマンドについてはデフォルト設定が表示され、**clock summer-time** コマンドについては詳細な情報が表示されています。

```
hostname# show running-config all clock
clock timezone UTC 0
clock summer-time EDT recurring 1 Sun Apr 2:00 last Sun Oct 2:00 60
```

関連コマンド

コマンド	説明
clock set	セキュリティ アプライアンスのクロックを手動で設定します。
clock summer-time	夏時間を表示する日付範囲を設定します。
clock timezone	時間帯を設定します。

show running-config command-alias

設定されているコマンドエイリアスを表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config command-alias* コマンドを使用します。

```
show running-config [all] command-alias
```

シンタックスの説明

all (オプション) デフォルト値を含めて、設定されているすべてのコマンドエイリアスを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

all キーワードを入力しない場合は、デフォルト以外のコマンドエイリアスのみが表示されます。

例

次の例では、デフォルト値を「含めて」、セキュリティ アプライアンス上に設定されているすべてのコマンドエイリアスを表示しています。

```
hostname# show running-config all command-alias
command-alias exec h help
command-alias exec lo logout
command-alias exec p ping
command-alias exec s show
command-alias exec save copy running-config startup-config
```

次の例では、デフォルト値を「除いて」、セキュリティ アプライアンス上に設定されているすべてのコマンドエイリアスを表示しています。

```
hostname# show running-config command-alias
command-alias exec save copy running-config startup-config
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<i>command-alias</i>	コマンドエイリアスを作成します。
<i>clear configure command-alias</i>	デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて削除します。

show running-config compression

実行コンフィギュレーションに含まれている圧縮コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config compression** コマンドを使用します。

show running-config compression

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1.1	このコマンドが導入されました。

例

この例では、実行コンフィギュレーション内の圧縮コンフィギュレーションを表示しています。

```
hostname# show running-config compression
compression svc http-comp
```

関連コマンド

コマンド	説明
compression	すべての SVC 接続、WebVPN 接続、およびポート転送接続に対して圧縮をイネーブルにします。

show running-config console timeout

コンソール接続のタイムアウト値を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config console timeout** コマンドを使用します。

show running-config console timeout

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例は、コンソール接続のタイムアウト設定を表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config console timeout
console timeout 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
console timeout	セキュリティ アプライアンスへのコンソール接続のアイドル タイムアウトを設定します。
clear configure console	コンソール接続の設定をデフォルトにリセットします。

show running-config context

システム実行スペースのコンテキスト コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config context** コマンドを使用します。

show running-config context

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config context** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config context

admin-context admin
context admin
  allocate-interface GigabitEthernet0/0
  config-url flash:/admin.cfg
!

context A
  allocate-interface GigabitEthernet0/1
  config-url flash:/A.cfg
!
```

関連コマンド	コマンド	説明
	admin-context	管理コンテキストを設定します。
	allocate-interface	コンテキストにインターフェイスを割り当てます。
	changeto	コンテキスト間またはコンテキストとシステム実行スペースの間で切り替えを行います。
	config-url	コンテキスト コンフィギュレーションの場所を指定します。
	context	システム コンフィギュレーションにセキュリティ コンテキストを作成し、コンテキスト コンフィギュレーションモードに入ります。

show running-config crypto

IPSec、暗号マップ、ダイナミック暗号マップ、および ISAKMP を含めた暗号コンフィギュレーション全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto** コマンドを使用します。

show running-config crypto

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードも引数もありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 特権 EXEC モードで入力した次の例では、すべての暗号コンフィギュレーション情報を表示しています。

```
hostname# show running-config crypto map
crypto map abc 1 match address xyz
crypto map abc 1 set peer 209.165.200.225
crypto map abc 1 set transform-set ttt
crypto map abc interface test
isakmp enable inside
isakmp policy 1 authentication pre-share
isakmp policy 1 encryption 3des
isakmp policy 1 hash md5
isakmp policy 1 group 2
isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションを消去します。
	clear configure isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
	isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto dynamic-map

ダイナミック暗号マップを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto dynamic-map** コマンドを使用します。

show running-config crypto dynamic-map

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードも引数もありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—
特権 EXEC	•	•	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、ダイナミック暗号マップに関するすべてのコンフィギュレーション情報を表示しています。

```
hostname(config)# show running-config crypto dynamic-map

Crypto Map Template "dyn1" 10

    access-list 152 permit ip host 172.21.114.67 any
    Current peer: 0.0.0.0
    Security association lifetime: 4608000 kilobytes/120 seconds
    PFS (Y/N): N
    Transform sets={ tauth, t1, }
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションを消去します。
	clear configure isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
	isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto ipsec

IPSec コンフィギュレーション全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto ipsec** コマンドを使用します。

```
show running-config crypto ipsec
```

シンタックスの説明 このコマンドには、デフォルトの動作も値もありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、IPSec コンフィギュレーションに関する情報を表示しています。

```
hostname(config)# show running-config crypto ipsec
crypto ipsec transform-set ttt esp-3des esp-md5-hmac
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションを消去します。
	clear configure isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
	isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto isakmp

ISAKMP コンフィギュレーション全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto isakmp** コマンドを使用します。

show running-config crypto isakmp

シンタックスの説明 このコマンドには、デフォルトの動作も値もありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	show running-config isakmp コマンドが導入されました。
	7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 show running-config crypto isakmp コマンドに置き換えられました。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、ISAKMP コンフィギュレーションに関する情報を表示しています。

```
hostname<config># show running-config crypto isakmp
crypto isakmp enable inside
crypto isakmp policy 1 authentication pre-share
crypto isakmp policy 1 encryption 3des
crypto isakmp policy 1 hash md5
crypto isakmp policy 1 group 2
crypto isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname<config>#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure crypto isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションを消去します。
	clear configure crypto isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	clear crypto isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
	crypto isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show crypto isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config crypto map

すべての暗号マップのすべてのコンフィギュレーションを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto map** コマンドを使用します。

show running-config crypto map

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードも引数もありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—
特権 EXEC	•	•	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 特権 EXEC モードで入力した次の例では、すべての暗号マップのすべてのコンフィギュレーション情報を表示しています。

```
hostname# show running-config crypto map
crypto map abc 1 match address xyz
crypto map abc 1 set peer 209.165.200.225
crypto map abc 1 set transform-set ttt
crypto map abc interface test
hostname#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションを消去します。
	clear configure isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
	isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。

show running-config ddns

実行コンフィギュレーションの DDNS アップデート方式を表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config ddns` コマンドを使用します。

```
show running-config [all] ddns [update]
```

シンタックスの説明

all	(オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルトのコンフィギュレーション値を含めて表示します。
update	(オプション) DDNS アップデート方式の情報を表示することを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、名前に `test` を持つ実行コンフィギュレーションの DDNS 方式を表示します。

```
hostname# show running-config all ddns | grep test
ddns update method test
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ddns (DDNS アップデート方式モード)	作成済みの DDNS 方式に対して、DDNS アップデート方式のタイプを指定します。
ddns update (インターフェイスコンフィギュレーションモード)	セキュリティ アプライアンス インターフェイスを、DDNS アップデート方式または DDNS アップデート ホスト名に関連付けます。
ddns update method (グローバルコンフィギュレーションモード)	DNS のリソース レコードを動的にアップデートするための方式を作成します。
show ddns update interface	設定済みの各 DDNS 方式に関連付けられているインターフェイスを表示します。
show ddns update method	設定済みの各 DDNS 方式について、タイプおよび間隔を表示します。DDNS アップデートを実行する DHCP サーバ。

show running-config dhcp-client

実行コンフィギュレーションの DHCP クライアント アップデート パラメータを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dhcp-client** コマンドを使用します。

show running-config [all] dhcp-client

シンタックスの説明

all (オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルトのコンフィギュレーション値を含めて表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、A レコードと PTR レコードの両方のアップデートを指定する実行コンフィギュレーションの DHCP クライアント アップデート パラメータを表示します。

```
hostname# show running-config all dhcp-client | grep both
dhcp-client update dns server both
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
dhcp-client update dns	DHCP クライアントが DHCP サーバに渡すアップデート パラメータを設定します。
dhcpd update dns	DHCP サーバによる DDNS アップデートの実行をイネーブルにします。
clear configure dhcp-client	DHCP クライアント コンフィギュレーションを消去します。

show running-config dhcpd

DHCP コンフィギュレーションを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config dhcpd** コマンドを使用します。

show running-config dhcpd

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが、 show dhcpd コマンドから show running-config dhcpd コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン **show running-config dhcpd** コマンドは、実行コンフィギュレーションに入力されている DHCP のコマンドを表示します。DHCP のバインディング、状態、および統計情報を表示するには、**show dhcpd** コマンドを使用します。

例 次に、**show running-config dhcpd** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dhcpd

dhcpd address 10.0.1.100-10.0.1.108 inside
dhcpd lease 3600
dhcpd ping_timeout 750
dhcpd dns 209.165.201.2 209.165.202.129
dhcpd enable inside
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure dhcpd	DHCP サーバの設定をすべて削除します。
	debug dhcpd	DHCP サーバに対するデバッグ情報を表示します。
	show dhcpd	DHCP のバインディング、統計情報、または状態情報を表示します。

show running-config dhcprelay

現在の DHCP リレー エージェント コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dhcprelay** コマンドを使用します。

show running-config dhcprelay

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン **show running-config dhcprelay** コマンドは、現在の DHCP リレー エージェント コンフィギュレーションを表示します。DHCP リレー エージェントの packets 統計情報を表示するには、**show dhcprelay statistics** コマンドを使用します。

例 次に、**show running-config dhcprelay** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config dhcprelay

dhcprelay server 10.1.1.1
dhcprelay enable inside
dhcprelay timeout 90
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure dhcprelay	DHCP リレー エージェントの設定をすべて削除します。
	clear dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェント統計情報カウンタを消去します。
	debug dhcprelay	DHCP リレー エージェントに関するデバッグ情報を表示します。
	show dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェントの統計情報を表示します。

show running-config dns

実行コンフィギュレーションの DNS コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dns** コマンドを使用します。

show running-config dns

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config dns** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dns
dns domain-lookup inside
dns name-server
dns retries 2
dns timeout 15
dns name-server 10.1.1.1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	dns domain-lookup	セキュリティ アプライアンスがネーム ルックアップを実行できるようにします。
	dns name-server	DNS サーバのアドレスを設定します。
	dns retries	セキュリティ アプライアンスが応答を受信しないときに、一連の DNS サーバへのアクセスを再試行する回数を指定します。
	dns timeout	次の DNS サーバを試すまでに待つ時間を指定します。
	show dns-hosts	DNS キャッシュを表示します。

show running-config dns server-group

実行コンフィギュレーションの DNS コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dns** コマンドを使用します。

```
show [all] running-config dns server-group [name]
```

シンタックスの説明

all	1 つまたはすべての dns サーバ グループのデフォルトおよび明示的に設定されたコンフィギュレーション情報を表示します。
name	コンフィギュレーション情報を表示する dns サーバ グループの名前を指定します。

デフォルト

dns サーバ グループ名を省略すると、このコマンドは既存の dns サーバ グループ コンフィギュレーションをすべて表示します。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト	
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト
特権 EXEC	•	•	•	•
				システム

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config dns server-group** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dns server-group
dns domain-lookup inside
dns server-group DefaultDNS
  name-server 90.1.1.22
  domain-name frqa.cisco.com
dns server-group writers1
  retries 10
  timeout 3
  name-server 10.86.194.61
  domain-name doc-group
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure dns	DNS コマンドをすべて削除します。
dns server-group	DNS サーバ グループを設定できる DNS サーバ グループ モードに入ります。

show running-config domain-name

実行コンフィギュレーションのドメイン名コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config domain-name** コマンドを使用します。

show running-config domain-name

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show domain-name から変更されました。

例 次に、**show running-config domain-name** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config domain-name
example.com
```

関連コマンド

コマンド	説明
domain-name	デフォルトのドメイン名を設定します。
hostname	セキュリティアプライアンスのホスト名を設定します。

show running-config enable

暗号化されたイネーブルパスワードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config enable** コマンドを使用します。

show running-config enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが、 show enable コマンドから変更されました。

使用上のガイドライン パスワードは暗号化された形式でコンフィギュレーションに保存されるため、パスワードの入力後に元のパスワードを表示することはできません。パスワードは **encrypted** キーワードと共に表示され、パスワードが暗号化されていることが示されます。

例 次に、**show running-config enable** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config enable
enable password 2AfK9Kjr3BE2/J2r level 10 encrypted
enable password 8Ry2YjIyt7RRXU24 encrypted
```

関連コマンド	コマンド	説明
	disable	特権 EXEC モードを終了します。
	enable	特権 EXEC モードに入ります。
	enable password	イネーブルパスワードを設定します。

show running-config established

確立済みの接続に基づいて許可されている着信接続を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config established** コマンドを使用します。

show running-config established

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドに使用上のガイドラインはありません。

例 この例は、確立済みの接続に基づいて許可されている着信接続を表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config established
```

関連コマンド	コマンド	説明
	established	確立されている接続に基づくポート上のリターン接続を許可します。
	clear configure established	確立されたコマンドをすべて削除します。

show running-config failover

コンフィギュレーションに含まれている **failover** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config failover** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] failover
```

シンタックスの説明

all (オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての failover コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config failover コマンドは、実行コンフィギュレーションに含まれている **failover** コマンドを表示します。**monitor-interface** コマンドおよび **join-failover-group** コマンドは表示しません。

例

次の例では、フェールオーバーを設定する前のデフォルト フェールオーバー コンフィギュレーションを表示しています。

```
hostname# show running-config all failover
no failover
failover lan unit secondary
failover polltime unit 15 holdtime 45
failover polltime interface 15
failover interface policy 1
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show failover	フェールオーバーの状態と統計情報を表示します。

show running-config filter

フィルタリング コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config filter** コマンドを使用します。

show running-config filter

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン

show running-config filter コマンドは、セキュリティ アプライアンスのフィルタリング コンフィギュレーションを表示します。

例

次に、**show running-config filter** コマンドの出力例を示します。セキュリティ アプライアンスのフィルタリング コンフィギュレーションが表示されています。

```
hostname# show running-config filter
!
filter activex 80 10.86.194.170 255.255.255.255 10.1.1.0 255.255.255.224
!
```

この例では、アドレス 10.86.194.170 について、ポート 80 で ActiveX フィルタリングがイネーブルになっています。

関連コマンド

コマンド	説明
filter activex	セキュリティ アプライアンスを通過する HTTP トラフィックから ActiveX オブジェクトを削除します。
filter ftp	URL フィルタリング サーバによってフィルタリングされる FTP トラフィックを指定します。
filter https	Websense サーバによってフィルタリングされる HTTPS トラフィックを指定します。
filter java	セキュリティ アプライアンスを通過する HTTP トラフィックから Java アプレットを削除します。
filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに向けて送ります。

show running-config fips

セキュリティ アプライアンス上で実行されている FIPS コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config fips** コマンドを使用します。

show running-config fips

シンタックスの説明

fips FIPS-2 準拠情報

デフォルト

このコマンドにデフォルト設定はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(4)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config fips コマンドを使用すると、現在の実行 FIPS コンフィギュレーションを表示できます。**running-config** キーワードは、**show running-config fips** コマンド内だけで使用します。このキーワードを **no** または **clear** と共に使用することはできません。また、スタンドアロンコマンドとして使用することもできません。そのような使用方法はサポートされていません。また、**?**、**no ?**、または **clear ?** のいずれかのキーワードを入力した場合、**running-config** キーワードはコマンドリストに表示されません。

例

```
sw8-ASA(config)# show running-config fips
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure fips	NVRAM に格納されているシステムまたはモジュールの FIPS コンフィギュレーション情報を消去します。
crashinfo console disable	フラッシュに対するクラッシュ書き込み情報の読み取り、書き込み、および設定をディセーブルにします。
fips enable	システムまたはモジュールで FIPS に準拠するためのポリシーチェックをイネーブルまたはディセーブルにします。
fips self-test poweron	パワーオンセルフテストを実行します。
show crashinfo console	フラッシュに対するクラッシュ書き込みの読み取り、書き込み、および設定を行います。

show running-config fragment

フラグメント データベースの現在のコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config fragment** コマンドを使用します。

```
show running-config fragment [interface]
```

シンタックスの説明

interface (オプション) セキュリティ アプライアンスのインターフェイスを指定します。

デフォルト

インターフェイスが指定されていないければ、このコマンドはすべてのインターフェイスに適用されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config fragment コマンドは、フラグメント データベースの現在のコンフィギュレーションを表示します。インターフェイス名が指定されていれば、指定したインターフェイスに常駐するデータベースの情報だけを表示します。インターフェイス名が指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイスに適用されます。

show running-config fragment コマンドは、次の情報を表示するために使用します。

- **Size : size** キーワードで設定されるパケットの最大数。この値は、インターフェイス上で許容されるフラグメントの最大数です。
- **Chain : chain** キーワードで設定される 1つのパケットのフラグメントの最大数。
- **Timeout : timeout** キーワードで設定される最大秒数。これは、フラグメント化されたパケット全体が到着するのを待つ最大秒数です。タイマーは、パケットの最初のフラグメントが到着すると始動します。指定した秒数以内にパケットのすべてのフラグメントが到着しない場合、それまでに受信したパケットフラグメントはすべて廃棄されます。

例 次の例は、すべてのインターフェイス上のフラグメント データベースの状態を表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config fragment
fragment size 200 inside
fragment chain 24 inside
fragment timeout 5 inside
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
fragment size 200 outside2
fragment chain 24 outside2
fragment timeout 5 outside2
fragment size 200 outside3
fragment chain 24 outside3
fragment timeout 5 outside3
```

次の例は、名前が「outside」で始まるインターフェイス上にあるフラグメント データベースの状態を表示する方法を示しています。



(注) この例では、「outside1」、「outside2」、および「outside3」という名前のインターフェイスが表示されています。

```
hostname# show running-config fragment outside
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
fragment size 200 outside2
fragment chain 24 outside2
fragment timeout 5 outside2
fragment size 200 outside3
fragment chain 24 outside3
fragment timeout 5 outside3
```

次の例は、「outside1」というインターフェイス上にあるフラグメント データベースについてのみ、状態を表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config fragment outside1
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure fragment	すべての IP フラグメント再構成コンフィギュレーションを、デフォルトにリセットします。
clear fragment	IP フラグメント再構成モジュールの運用データを消去します。
fragment	特別なパケット フラグメント化の管理を提供して、NFS との互換性を改善します。
show fragment	IP フラグメント再構成モジュールの運用データを表示します。

show running-config ftp mode

FTP に関して設定されているクライアント モードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ftp mode** コマンドを使用します。

show running-config ftp mode

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン **show running-config ftp mode** コマンドは、FTP サーバにアクセスするときにセキュリティ アプライアンスが使用するクライアント モードを表示します。

例 次に、**show running-config ftp-mode** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ftp-mode
!
ftp-mode passive
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy	イメージファイルまたはコンフィギュレーション ファイルを FTP サーバとの間でアップロードまたはダウンロードします。
debug ftp client	FTP クライアントのアクティビティに関する詳細な情報を表示します。
ftp mode passive	FTP サーバにアクセスするときにセキュリティ アプライアンスが使用する FTP クライアント モードを設定します。

show running-config global

コンフィギュレーションに含まれている **global** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config global** コマンドを使用します。

show running-config global

シンタックスの説明

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

例

次に、**show running-config global** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config global
global (outsidel) 10 interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure global	コンフィギュレーションから global コマンドを削除します。
global	グローバルアドレス プールに対してエントリを作成します。

show running-config group-delimiter

トンネルのネゴシエーション中に受信したユーザ名に基づいてグループ名を解析するときに使用する、現在のデリミタを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モード、またはトンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション モードで **show running-config group-delimiter** コマンドを使用します。

show running-config group-delimiter

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•
トンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。
	7.1(1)	トンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション モードが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、現在設定されているグループデリミタを表示するために使用します。

例 次の例は、**show running-config group-delimiter** コマンドおよびその出力を示しています。

```
hostname(config)# show running-config group-delimiter
group-delimiter @
```

関連コマンド	コマンド	説明
	group-delimiter	グループ名の解析をイネーブルにし、トンネルのネゴシエーション中に受信したユーザ名からグループ名を解析するときに使用するデリミタを指定します。

show running-config group-policy

特定のグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config group-policy** コマンドを使用するときに、グループ ポリシーの名前を付加します。すべてのグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを表示するには、特定のグループ ポリシーを指定せずにこのコマンドを使用します。表示内容にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

show running-config [all] group-policy [name]

シンタックスの説明

all	(オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。
name	(オプション) グループ ポリシーの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例は、FirstGroup というグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションをデフォルト値を含めて表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config all group-policy FirstGroup
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-policy	グループ ポリシーを作成、編集、または削除します。
group-policy attributes	指定したグループ ポリシーの AVP を設定できるグループ ポリシー アトリビュート モードに入ります。
clear config group-policy	特定のグループ ポリシーまたはすべてのグループ ポリシーのコンフィギュレーションを削除します。

show running-config http

現在の一連の設定済み http コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config http** コマンドを使用します。

show running-config http

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

例

次の出力例は、**show running-config http** コマンドを使用する方法を示しています。

```
hostname# show running-config http
http server enabled
0.0.0.0 0.0.0.0 inside
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear http	HTTP コンフィギュレーションを削除します。HTTP サーバをディセーブルにし、HTTP サーバにアクセスできるホストを削除します。
http	IP アドレスとサブネット マスクによって、HTTP サーバにアクセスできるホストを指定します。ホストが HTTP サーバにアクセスするときに通過するセキュリティ アプライアンス インターフェイスを指定します。
http authentication-certificate	セキュリティ アプライアンスへの HTTPS 接続を確立するユーザに証明書による認証を要求します。
http redirect	セキュリティ アプライアンスが HTTP 接続を HTTPS にリダイレクトするように指定します。
http server enable	HTTP サーバをイネーブルにします。

show running-config icmp

ICMP トラフィックに対して設定されているアクセス規則を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config icmp** コマンドを使用します。

```
show running-config icmp map_name
```

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン

show running-config icmp コマンドは、ICMP トラフィックに対して設定されているアクセス規則を表示します。

例

次に、**show running-config icmp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config icmp
!
icmp permit host 172.16.2.15 echo-reply outside
icmp permit 172.22.1.0 255.255.0.0 echo-reply outside
icmp permit any unreachable outside
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure icmp	ICMP コンフィギュレーションを消去します。
debug icmp	ICMP に関するデバッグ情報の表示をイネーブルにします。
show icmp	ICMP コンフィギュレーションを表示します。
timeout icmp	ICMP のアイドルタイムアウトを設定します。

show running-config imap4s

IMAP4S の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config imap4s** コマンドを使用します。

show running-config [all] imap4s

シンタックスの説明

all (オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
Webvpn	•	—	•	—	—

例

次に、**show running-config imap4s** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config imap4s

imap4s
server 10.160.105.2
authentication-server-group KerbSvr
authentication aaa

hostname# show running-config all imap4s

imap4s
port 993
server 10.160.105.2
outstanding 20
name-separator :
server-separator @
authentication-server-group KerbSvr
no authorization-server-group
no accounting-server-group
no default-group-policy
authentication aaa
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure imap4s	IMAP4S コンフィギュレーションを削除します。
imap4s	IMAP4S 電子メール プロキシのコンフィギュレーションを作成または編集します。

show running-config interface

実行コンフィギュレーションのインターフェイス コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config interface** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] interface [physical_interface[.subinterface]] | mapped_name | interface_name
```

シンタックスの説明

<i>all</i>	(オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての interface コマンドを表示します。
<i>interface_name</i>	(オプション) nameif コマンドで設定したインターフェイス名を指定します。
<i>mapped_name</i>	(オプション) マルチ コンテキスト モードで、マッピング名を allocate-interface コマンドを使用して割り当てた場合、その名前を指定します。
<i>physical_interface</i>	(オプション) インターフェイス ID (gigabitethernet0/1 など) を指定します。使用できる値については、 interface コマンドを参照してください。
<i>subinterface</i>	(オプション) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

デフォルト

インターフェイスを指定しない場合は、すべてのインターフェイスのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

インターフェイス名をシステム実行スペースで使用することはできません。これは、**nameif** コマンドはコンテキスト内でのみ使用できるためです。同様に、**allocate-interface** コマンドを使用してインターフェイス ID をマッピング名にマッピングした場合、そのマッピング名はコンテキスト内でのみ使用できます。

例

次に、**show running-config interface** コマンドの出力例を示します。この例では、すべてのインターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示しています。GigabitEthernet0/2 インターフェイスと GigabitEthernet0/3 インターフェイスはまだ設定されていないため、デフォルトのコンフィギュレーションが表示されます。Management0/0 インターフェイスについても、デフォルトの設定が表示されています。

```
hostname# show running-config interface
!
interface GigabitEthernet0/0
  no shutdown
  nameif inside
  security-level 100
  ip address 10.86.194.60 255.255.254.0
  webvpn enable
!
interface GigabitEthernet0/1
  no shutdown
  nameif test
  security-level 0
  ip address 10.10.4.200 255.255.0.0
!
interface GigabitEthernet0/1.1
  vlan 101
  no shutdown
  nameif dmz
  security-level 50
  ip address 10.50.1.1 255.255.255.0
  mac-address 000C.F142.4CDE standby 020C.F142.4CDE
!
interface GigabitEthernet0/2
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface GigabitEthernet0/3
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Management0/0
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
```

関連コマンド

コマンド	説明
allocate-interface	セキュリティ コンテキストにインターフェイスおよびサブインターフェイスを割り当てます。
clear configure interface	インターフェイス コンフィギュレーションを消去します。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードに入ります。
nameif	インターフェイス名を設定します。
show interface	インターフェイスのランタイム ステータスと統計情報を表示します。

show running-config ip address

実行コンフィギュレーションの IP アドレス コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip address** コマンドを使用します。

```
show running-config ip address [physical_interface[.subinterface] | mapped_name | interface_name]
```

シンタックスの説明

<i>interface_name</i>	(オプション) nameif コマンドで設定したインターフェイス名を指定します。
<i>mapped_name</i>	(オプション) マルチ コンテキスト モードで、マッピング名を allocate-interface コマンドを使用して割り当てた場合、その名前を指定します。
<i>physical_interface</i>	(オプション) インターフェイス ID (gigabitethernet0/1 など) を指定します。使用できる値については、 interface コマンドを参照してください。
<i>subinterface</i>	(オプション) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

デフォルト

インターフェイスを指定しない場合は、すべてのインターフェイスの IP アドレス コンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

マルチ コンテキスト モードで、**allocate-interface** コマンドを使用してインターフェイス ID をマッピングした場合、そのマッピング名またはインターフェイス名はコンテキスト内でのみ指定できません。

透過ファイアウォール モードの場合は、インターフェイスを指定しないでください。このコマンドは、管理 IP アドレスのみを表示するものであり、透過ファイアウォールではインターフェイスに IP アドレスが関連付けられていないためです。

このコマンドの表示内容では、**nameif** コマンドと **security-level** コマンドのコンフィギュレーションも示されます。

例

次に、**show running-config ip address** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip address
!
interface GigabitEthernet0/0
  nameif inside
  security-level 100
  ip address 10.86.194.60 255.255.254.0
!
interface GigabitEthernet0/1
  nameif test
  security-level 0
  ip address 10.10.4.200 255.255.0.0
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure interface	インターフェイス コンフィギュレーションを消去します。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードに入ります。
ip address	インターフェイスの IP アドレスを設定します。または、透過ファイアウォールの管理 IP アドレスを設定します。
nameif	インターフェイス名を設定します。
security-level	インターフェイスのセキュリティ レベルを設定します。

show running-config ip audit attack

実行コンフィギュレーションの **ip audit attack** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit attack** コマンドを使用します。

```
show running-config ip audit attack
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show ip audit attack から変更されました。

例 次に、**show running-config ip audit attack** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit attack
ip audit attack action drop
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	インターフェイスに監査ポリシーを割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit info

実行コンフィギュレーションの **ip audit info** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit info** コマンドを使用します。

show running-config ip audit info

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show ip audit info から変更されました。

例 次に、**show running-config ip audit info** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit info
ip audit info action drop
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	インターフェイスに監査ポリシーを割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit interface

実行コンフィギュレーションの **ip audit interface** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit interface** コマンドを使用します。

```
show running-config ip audit interface [interface_name]
```

シンタックスの説明

interface_name (オプション) インターフェイス名を指定します。

デフォルト

インターフェイス名を指定しない場合は、すべてのインターフェイスのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show ip audit interface から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit interface** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit interface
ip audit interface inside insidepolicy
ip audit interface outside outsidepolicy
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	インターフェイスに監査ポリシーを割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit name

実行コンフィギュレーションの **ip audit name** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit name** コマンドを使用します。

```
show running-config ip audit name [name [info | attack]]
```

シンタックスの説明

attack	(オプション) 攻撃シグニチャに対する名前付き監査ポリシーのコンフィギュレーションを表示します。
info	(オプション) 情報シグニチャに対する名前付き監査ポリシーのコンフィギュレーションを表示します。
name	(オプション) ip audit name コマンドを使用して作成した監査ポリシー名のコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

名前を指定しない場合は、すべての監査ポリシーのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show ip audit name から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit name** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit name
ip audit name insidepolicy1 attack action alarm
ip audit name insidepolicy2 info action alarm
ip audit name outsidepolicy1 attack action reset
ip audit name outsidepolicy2 info action alarm
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	インターフェイスに監査ポリシーを割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip audit signature

実行コンフィギュレーションの **ip audit signature** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip audit signature** コマンドを使用します。

```
show running-config ip audit signature [signature_number]
```

シンタックスの説明

signature_number (オプション) このシグニチャ番号に対応するコンフィギュレーションが存在する場合は、表示します。サポートされているシグニチャのリストについては、**ip audit signature** コマンドを参照してください。

デフォルト

番号を指定しない場合は、すべてのシグニチャのコンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show ip audit signature から変更されました。

例

次に、**show running-config ip audit signature** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip audit signature
ip audit signature 1000 disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	インターフェイスに監査ポリシーを割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

show running-config ip local pool

IP アドレス プールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip local pool** コマンドを使用します。

```
show running-config ip local pool [poolname]
```

シンタックスの説明

poolname (オプション) IP アドレス プールの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config ip local pool** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config ip local pool firstpool

Pool          Begin          End            Mask           Free           In use
firstpool     10.20.30.40   10.20.30.50   255.255.255.0 11
0
Available Addresses:
10.20.30.40
10.20.30.41
10.20.30.42
10.20.30.43
10.20.30.44
10.20.30.45
10.20.30.46
10.20.30.47
10.20.30.48
10.20.30.49
10.20.30.50

hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ip local pool	すべての IP ローカル プールを削除します。
ip local pool	IP アドレス プールを設定します。

show running-config ip verify reverse-path

実行コンフィギュレーションの **ip verify reverse-path** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip verify reverse-path** コマンドを使用します。

```
show running-config ip verify reverse-path [interface interface_name]
```

シンタックスの説明

interface interface_name (オプション) 指定したインターフェイスのコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

このコマンドは、すべてのインターフェイスのコンフィギュレーションを表示します。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show ip verify reverse-path から変更されました。

例

次に、**show ip verify statistics** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip verify reverse-path
ip verify reverse-path interface inside
ip verify reverse-path interface outside
ip verify reverse-path interface dmz
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ip verify reverse-path	ip verify reverse-path コンフィギュレーションを消去します。
clear ip verify statistics	Unicast RPF の統計情報を消去します。
ip verify reverse-path	Unicast Reverse Path Forwarding 機能をイネーブルにして IP スプーフィングを防止します。
show ip verify statistics	Unicast RPF の統計情報を表示します。

show running-config ipv6

実行コンフィギュレーションに含まれている IPv6 のコマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ipv6** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] ipv6
```

シンタックスの説明

all (オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、実行コンフィギュレーションに含まれているすべての **ipv6** コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config ipv6** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ipv6
ipv6 unicast-routing
ipv6 route vlan101 ::/0 fec0::65:0:0:a0a:6575
ipv6 access-list outside_inbound_ipv6 permit ip any any
ipv6 access-list vlan101_inbound_ipv6 permit ip any any
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug ipv6	IPv6 デバッグ メッセージを表示します。
show ipv6 access-list	IPv6 アクセス リストを表示します。
show ipv6 interface	IPv6 インターフェイスのステータスを表示します。
show ipv6 route	IPv6 ルーティング テーブルの内容を表示します。
show ipv6 traffic	IPv6 トラフィックの統計情報を表示します。

show running-config isakmp

ISAKMP コンフィギュレーション全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config isakmp** コマンドを使用します。

show running-config isakmp

シンタックスの説明 このコマンドには、デフォルトの動作も値もありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	show running-config isakmp コマンドが導入されました。
	7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 show running-config crypto isakmp コマンドに置き換えられました。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、ISAKMP コンフィギュレーションに関する情報を表示しています。

```
hostname(config)# show running-config isakmp
isakmp enable inside
isakmp policy 1 authentication pre-share
isakmp policy 1 encryption 3des
isakmp policy 1 hash md5
isakmp policy 1 group 2
isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure isakmp	すべての ISAKMP コンフィギュレーションを消去します。
	clear configure isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	clear isakmp sa	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
	isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。